

4 便利な「都」をつくる

【基本的方向】

県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる。

【数値目標】

- (1) 骨格幹線道路ネットワークの整備率 42% (令和元年度) →53% (令和6年度)
 - (2) 1日当たりの平均乗降客数3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率 77.4% (平成30年度) →100% (令和2年度)
 - (3) 県内の複数市町村を跨ぐ県内の路線バス・市町村連携コミュニティバス
 - 1便当たりの利用者数 3.0人/日以上
 - 平均乗車密度 2.0人/日以上
 - 最大乗車人員 10.0人以上
 - 収支率 40%以上(交通事業者) 20%以上(市町村連携)
 - 利用者1人あたりの行政負担 2,000円以下
- の目標値5項目を全て達成している系統の割合 75.6% (平成30年度) →100% (令和6年度)

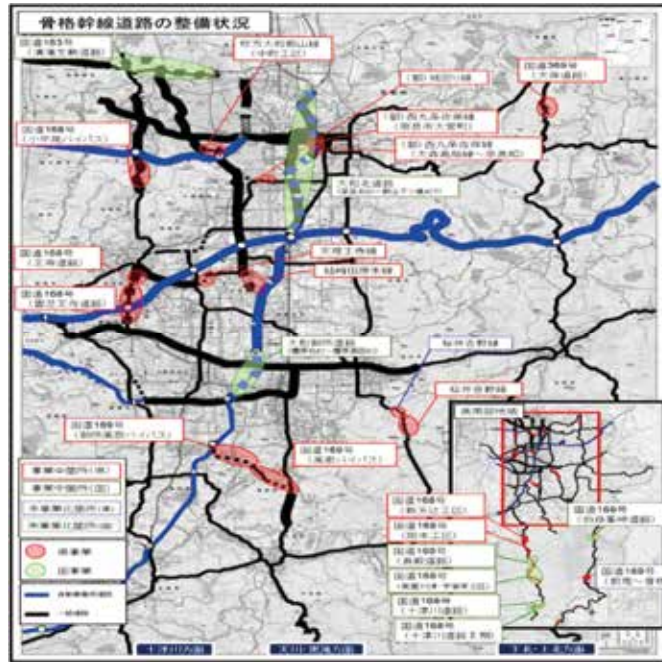
【具体的施策】

(12) 道路整備

①幹線道路の整備

- ・骨格幹線道路ネットワークの形成

「奈良県道路整備基本計画」において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、重点的に整備を推進します。「選択と集中」の原則のもと、合理的な道路づくりを進め、本県のまちづくりや安全・安心を支える道路整備を行います。



・京奈和自動車道の整備

本県では、京奈和自動車道の全線事業化がされ、整備が進んできました。国土幹線軸に繋がる南北の大幹線である京奈和自動車道の早期完成を目指します。



<KPI>

指標名	現状値	目標値
骨格幹線道路ネットワークの整備率（再掲）	42%（令和元年度）	53%（令和6年度）
五條新宮道路の整備率	19%（令和元年度）	21%（令和6年度）

<具体的な取組>

- 京奈和自動車道（大和北道路、大和御所道路）の整備促進
- 国道 163 号（清滝生駒道路）の整備促進
- 国道 168 号（長殿道路、風屋川津・宇宮原工区）、国道 169 号（伯母峯峠道路）の整備促進
- 国道 168 号（新天辻工区、阪本工区、王寺道路、香芝王寺道路、小平尾 B P）、国道 169 号（御所高取 B P、高取 B P）、国道 369 号（大保道路）等の整備推進
- 枚方大和郡山線（中町工区）、天理王寺線（長楽工区）、結崎田原本線（結崎～三河）、（都）西九条佐保線、（都）城廻り線等の整備推進
- 国道 168 号（十津川道路Ⅱ期）の早期事業化
- 国道 169 号（前鬼～音枝）の調査・検討

【具体的施策】

(13) 鉄道整備

① 鉄道駅周辺の渋滞対策

踏切道改良促進法に基づき「改良すべき踏切道」に指定された駅周辺などについて鉄道事業者等と協議し、渋滞対策を推進します。





<KPI>

指標名	現状値	目標値
踏切道改良計画の策定	0 件（平成 30 年度末）	8 件（令和 2 年度末）

<具体的な取組>

- 大和西大寺駅周辺の渋滞対策を推進
- 平城宮跡及び新大宮駅周辺の渋滞対策を推進

【具体的施策】

②鉄道駅バリアフリー化の促進

高齢者、障害者、妊産婦等移動に困難を伴う多様な人々に対して生活を支えるための移動可能な環境を整備するため、駅・周辺主要施設における移動空間を整備するとともに、鉄道事業者への支援を行い、鉄道駅のバリアフリー化を進めます。

近鉄真菅駅のバリアフリー化（橿原市）



ホームまでの経路の段差が未解消の駅の例



<KPI>

指標名	現状値	目標値
1日当たりの平均乗降客数3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率	77.4%（平成30年度）	100%（令和2年度）

<具体的な取組>

- 鉄道駅バリアフリー化の促進

【具体的施策】

- ③ リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定及び関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想の検討

「奈良市附近」駅周辺でのまちづくりの具体的な検討や事業促進に向けた環境整備を着実に図られるよう、駅位置・ルートを早期に確定することや早期事業化による一日でも早く全線開業すること等について要望活動などを実施します。また、リニア中央新幹線の全線開業と「奈良市附近」駅の設置を、本県がさらに大きく飛躍するチャンスと捉え、戦略的な地域づくりを進めていくには、国際拠点空港との結節性を強化し、増加するインバウンド観光需要と外国人訪問者の域内各地域との往来を円滑化し、県内の経済、交流、観光の活性化を図ることが重要です。「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結する「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想を具体化する手法を検討します。

リニア中央新幹線ルート概念図



関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想



便利な「都」

<KPI>

指標名	現状値	目標値
リニア中央新幹線の建設促進	J R東海との連携・協力を実施 (令和元年度)	全線開業 (令和 19 年度)

<具体的な取組>

- リニア中央新幹線の建設促進 (三重・奈良・大阪ルートの早期実現、東西大動脈輸送ルートの二重系化)
- 「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」構想に関する調査検討

【具体的施策】

(14) バス輸送環境整備

①路線バスの利用環境整備

県内市町村、バス事業者と協力して、県内バス路線網の改善について不断の見直しを行います。また、バス停留所のアメニティ向上を図るとともに、バスロケーションシステム整備を進めます。

バス交通の確保（奈良交通㈱十津川営業所）



バスロケーションシステム

（スマートフォン画面イメージ（奈良バスナビweb））



<KPI>

指標名	現状値	目標値
県内の複数市町村を跨ぐ県内の路線バス・市町村連携コミュニティバス 1便当たりの利用者数 3.0人/日以上 平均乗車密度 2.0人/日以上 最大乗車人員 10.0人以上 収支率 40%以上(交通事業者) 20%以上(市町村連携) 利用者1人あたりの行政負担 2,000円以下 （目標値5項目を全て達成している系統の割合）	75.6%（平成30年度）	100%（令和6年度）

<具体的な取組>

- 奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援
- 公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進